

子どもの体験支援事業の公募型プロポーザルに関する質問・回答について

令和8年8月25日

No	質問内容	回答
1	本事業は AI・プログラミング教育を中心とする趣旨と理解しております。 その発展的・実践的な体験学習として、生徒自身がプログラミング(Python 等)で制御するドローンの安全な屋内飛行体験を、カリキュラムの一部に組み込むことは、本事業の趣旨に沿う提案として可能でしょうか。(単なる操縦体験ではなく、生徒が記述したコードで機体を制御し、論理的思考・課題解決・空間認識の育成につなげる位置づけを想定しております。)	生徒自身がプログラミング(Python 等)で制御するのであれば可能です。
2	上記(※質問 No.1)を実施する場合、機体・保険・安全管理(屋内飛行環境、第三者の立入管理等)の取り扱いについて、仕様書に定めのある事項に加えて特に留意すべき点がございましたらご教示ください。	・仕様書 P6「7(3)」に記載のとおり、学習支援ボランティア及び生徒の事故等に備えて、保険に加入してください。 併せて、安全への配慮は十分におこなってください。生徒に怪我がないように、また生徒が怪我をさせないように対策をお願いします。 ・屋内飛行環境については本市が施設を提案することは難しいので、事業者様で確保していただくことになります(会場使用料等は経費に計上することができます)。
3	仕様書 P3「イ(カ)」に記載の、IT 企業等と協力して実施する体制に関連して、当社がプログラミング教育を主とする事業者様の協力事業者・再委託先として、上記(※質問 No.1)ドローン制御の体験パートを担う形での参画は想定可能でしょうか。	可能です。 生徒がIT関連スキルを用いてIT業界で就業することを、進学先の選択を含め具体的にイメージできるような機会の提供をお願いします。 ただし仕様書に記載のとおり、本市は仲介や紹介をいたしませんので、ご注意ください。
4	昨年度の実際の受講者数(定員に対する参加人数)をご教示ください。	参加決定者は 23 名で、定員は 30 名でした。
5	昨年度の実施会場と、対面・オンラインの実施形態をご教示ください。(対面は何回・どこで実施されたか)	全9回のうち、対面が7回、オンラインが2回でした。 実施会場は、初回のみ奈良市中部公民館、その他は奈良市生涯学習センターでした。

6	昨年度の1回あたりの実施時間と総学習時間、および平日・土日のどちらで実施されたかご教示ください。	1回あたりの実施時間は10時から15時まで(昼休憩1時間を含む)で、全て日曜日に開催しました。 なお、実施時間には、アイスブレイク、成果発表会、キャリア形成支援のための交流会を含みます。
7	昨年度の受講生が使用する機器(パソコン・タブレット等)の用意方法をご教示ください。(受託者手配・貸与・贈与の有無、通信環境提供の有無)	【パソコン】 ・持参可能なノートパソコンがある場合は持参いただき、持参できない場合やスペックが不足する場合には、受託者が手配したパソコンを貸与しました。 ・出席率等の条件を満たした生徒については、教室終了後も引き続きIT関連スキルの習得に取り組めるよう、貸与したパソコンを贈与しました。 また、パソコンを貸与しなかった生徒に対しても、出席率等の条件を満たした生徒についてはIT関連スキルの習得に役立つ教本等を贈与しました。 【通信環境】 ・自宅に Wi-Fi 環境がない生徒には、受託者が手配した Wi-Fi 機器を貸与しました。 ・会場である奈良市中部公民館および奈良市生涯学習センターでの学習用に、受託者に Wi-Fi 機器をご準備いただきました。
8	昨年度の交通費補助の有無・内容をご教示ください。	公共交通機関を利用した場合に限り、1回当たり最大 1,000 円の交通費補助を行いました。
9	昨年度の非認知能力等の評価方法をご教示ください。(外部の研究機関等への委託の有無)	恐れ入りますが、詳細はお答えできません。仕様書 P5「3(4)」に記載のとおり、アンケートによる分析をお願いいたします。 なお、外部の研究機関等への委託は任意です。
10	昨年度の委託料の実績額をご教示ください。	恐れ入りますが、詳細はお答えできません。仕様書 P5「6」に記載のとおり、委託料の上限 5,700,000 円(消費税及び地方消費税を含む。)の範囲内で事業内容をご検討ください。
11	①令和 8 年 12 月に施行される「こども性暴力防止法」への方針記載が求められておりますが、本事業に直接関わる従事者(学習支援ボランティア、メンター、専門家、管理者等)に対し、事業者側で実施する「性犯罪歴の確認方針や自己申告の誓約確認」の体制を提案書内に記載することで要件を満たす認識でよろしいでしょうか。	①貴事業者において、子どもに対する性暴力防止についてどのように捉え、どのように対応する予定であるかをご記載ください。 例えば、「認定申請はしない予定だが、〇〇による対策を行う」といった内容でも差し支えありません。

	②契約後に市へ提出を求められる具体的な証明書类等(誓約書等)の指定予定があればあらかじめご教示ください。	②現時点では、契約後に具体的な証明書类等(誓約書等)の提出を依頼する予定はありません。 ただし、実績報告時等に、認定を受けた場合の認定日や、従事者研修や誓約確認等の実際の取組に関する記載等を求める場合があります。
12	企画提案書の「副」における匿名性確保の基準について確認させてください。 本事業をよりの確に履行するための提案にあたり、前年度に本市で実施された同事業の具体的な成果数値(例:出席率や資格合格率、満足度、検証された指導環境の改善プロセス等)を、事業者名を伏せた状態で「本市における類似事業の実績・検証データ」として「副」の提案書内に引用・記述することは、事業者特定に繋がるとみなされ制限される対象に該当しますでしょうか。 あるいは、選定上の公平性を担保する観点から、これら前年度の成果を引用すること自体は制限されないという認識でよろしいでしょうか。	ご質問の内容を実績として記載していただくことは問題ありません。 ただしその場合、「副」の提案書内では「奈良市」ではなく、「■■市」や「A市」といったように記載をお願いいたします。
13	仕様書の3「業務の概要」(2)ア「実施回数、実施時間及び実施期間」について、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度の現時点での実績・見込みにおける、本事業の実施回数、1回あたりの実施時間及び総学習時間をそれぞれご教示ください。	【令和6年度】 ・実施回数:13回 ・1回あたりの実施時間:14時から18時30分まで 【令和7年度】 ・実施回数:9回 ・1回あたりの実施時間:10時から15時まで(昼休憩1時間を含む) 【令和8年度】 仕様書 P1「3(2)ア」に記載のとおり、プログラム内容に応じた、実施回数、1回あたりの実施時間、総学習時間を提案してください。 なお、実施時間には、アイスブレイク、成果発表会、キャリア形成支援のための交流会等を含みます。

14	仕様書の 3「業務の概要」(2)イ(オ)「実施形態」について、令和 6 年度・令和 7 年度の実績及び令和 8 年度の現時点での実績・見込みにおける、本事業の実施形態(対面型、オンライン型、ハイブリッド型)をご教示ください。	【令和6年度】 全13回のうち、対面が11回、オンラインが2回でした。 【令和7年度】 全9回のうち、対面が7回、オンラインが2回でした。 【令和8年度】 プログラム内容に応じた実施形態を提案してください。 ただし、オンラインでの実施を主とする場合は、教室の初回と最終回の2回は対面型で行ってください。 なお、状況に応じて生徒が希望した場合に、ハイブリット型で実施した場合があります。 また、市の公民館等を会場とする場合は、貸館の状況により希望日に使用できない場合があります。
15	仕様書の 3「事業の概要」(2)イ(オ)について、「通信環境の提供が可能であれば、併せて提案を行うこと」とありますが、令和 6 年度・令和 7 年度の実績及び令和 8 年度の現時点での実績・見込みにおける、受講者自宅通信環境の状況(通信環境の提供台数など)についてご教示ください。	【令和6年度】 生徒への Wi-Fi 機器の貸与はありませんでした。 【令和7年度】 生徒1名に対し、受託者が手配した Wi-Fi 機器を貸与しました。 【令和8年度】 受講者自宅通信環境の状況は年度によって異なります。委託料の範囲で、通信環境等の提供が可能であれば、提案してください。 なお、会場である市の公民館等での学習用に、受託者に Wi-Fi 機器をご準備いただきました。

16	仕様書の3「事業の概要」(2)イ(ケ)について、「貸与した機器については、可能であれば、生徒に贈与できるような仕組みも検討すること」とありますが、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度の現時点での実績・見込みにおける、受講者への機器の贈与実績の有無をご教示ください。 また、実績又は予定がある場合は、対象人数、機器の種類及び実施方法について併せてご教示ください。	【令和6年度】 ・受講者への機器の贈与実績：有 ・対象人数：28人 ・機器の種類：ノートパソコン ・実施方法：出席率等の条件を満たした生徒に贈与 【令和7年度】 ・受講者への機器の贈与実績：有 ・対象人数：18人 ・機器の種類：ノートパソコン(パソコンを貸与しなかった生徒についてはIT関連スキルの習得に役立つ教本等) ・実施方法：出席率等の条件を満たした生徒に贈与 【令和8年度】 仕様書P3「3(2)イ(ケ)」に記載のとおり、貸与した機器については、可能であれば、生徒に贈与できるような仕組みを検討してください。
17	仕様書の3「事業の概要」(2)イ(ケ)について、「生徒が所持している機器を使用することは妨げない」とありますが、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度の現時点での実績・見込みにおける、受講者自身の機器持ち込み割合についてご教示ください。	【令和6年度】 0% 【令和7年度】 17% 【令和8年度】 受講者自身の機器持ち込み割合の状況は年度によって異なります。
18	仕様書の3「業務の概要」(2)ウ「生徒の人数、指導方法等」について、特に支援の必要性があると認められる生徒については、「マンツーマン(もしくは講師1人：生徒2人)で指導を行うこと」とありますが、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度の現時点での実績・見込みにおける、各年度の該当生徒数をご教示ください。	恐れ入りますが、統計をしておりません。生徒の状況やプログラム内容により、年度によって異なります。 特に支援の必要性があると認められる生徒に対する体制を整えられるよう、ご検討とご準備をお願いします。

19	仕様書の3「業務の概要」(2)ウ「生徒の人数、指導方法等」について、定員は30名以上とありますが、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度の現時点での実績・見込みにおける、各年度の受講者数をご教示ください。	【令和6年度】 参加決定者は33名(途中参加者含む)でした。 【令和7年度】 参加決定者は23名でした。 【令和8年度】 仕様書P1「3(2)ア」に記載のとおり、生徒の募集は令和8年10～11月に行うため、現時点での実績はありません。 また、仕様書P4「3(2)ウ」に記載のとおり、定員は30名以上で設定してください。
20	仕様書の3「業務の概要」(4)「業務の評価に関する業務」について、「個人の特性による能力(非認知的能力)等の変化を中心に分析を行うこと」とありますが、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度に実施予定の分析について、分析項目、分析手法及び評価方法等の具体的な内容をご教示ください。	恐れ入りますが、詳細はお答えできません。仕様書P5「3(4)」に記載のとおり、アンケートによる分析をお願いいたします。
21	仕様書の3「業務の概要」(4)「業務の評価に関する業務」について、令和6年度・令和7年度の実績及び令和8年度の現時点で把握している状況における、本事業の具体的な事業効果をご教示ください。 なお、アンケートによる満足度に限らず、非認知的能力等の変化に関する分析結果や、参加後の受講者の進学・進路等について把握している実績があれば、併せてご教示ください。	・自らの能力を開発し、将来に夢や希望を持って社会で生き抜く力を習得することで、就職や進学などにつなげることを目的として、本事業を実施しています。過去の実績からは、意欲や自己肯定感の上昇、生徒が進路を考えるきっかけになった等の効果を確認しています。 ・非認知的能力等の変化に関する分析結果については、恐れ入りますが、詳細はお答えできません。 ・参加後の受講者の進学・進路等については、現時点で把握しているものではありません。

22	仕様書の 3「事業の概要」(5)「その他」について、「教室及び心理に関するコーディネーターを設置し」とありますが、心理に関するコーディネーターについて、具体的にどのような役割・対応を想定しているかご教示ください。	仕様書 P4「3(3)」に記載のとおり、「IT関連スキル習得の教育にとどまらず、生徒のよき理解者として、学校や家庭における生活、その他の悩み相談に応じること」「生徒一人一人の個人的・家庭的事情や特性を理解し、寄り添いながら、生徒が目標を実現するための支援をすること」の中心的な役割を担っていただくことを想定しています。 また、保護者からも子どもについての相談が寄せられることがあるため、そ のご対応もお願いいたします。
23	仕様書の 3「業務の概要」全般について、令和 6 年度・令和 7 年度の事業実績及び令和 8 年度の現時点での実施状況を踏まえ、現状の課題や改善すべき点を含め、今後の受託事業者に特に期待する事項があればご教示ください。	今年度の仕様書及び企画提案書において、大きく以下の3点を追加しています。これらの内容を含めた提案を期待します。 ①基本的なプログラミング等の考え方は押さえたうえで、生成 AI が急速な進展を見せる AI 時代に即した IT 関連スキルの習得ができるカリキュラムを提案すること。 ②生成 AI を活用するにあたり重要な倫理観や IT リテラシーについて学ぶ機会を設けること。 ③12 月に施行予定のこども性暴力防止法について、認定予定の有無を含め、今後の受託者の方針を記載すること。